

二斗蒔池 ハザードマップ

このマップは、二斗蒔池が地震等の原因により決壊した場合、想定される浸水区域・浸水深、氾濫流の到達時間、避難所等を示したものです。このマップをもとに、日頃から避難所・避難路や近くの高台への経路を確認しておくとともに、万が一の際には早めの避難を心掛けましょう。

目につく場所に掲示して下さい



二斗蒔池ハザードマップの見方・使い方

■ハザードマップの作成目的

二斗蒔池ハザードマップには、地震等の原因によりため池が決壊した場合に想定される浸水区域・浸水深、氾濫流のシミュレーション結果を記載しました。

このマップをもとに、住民のみなさまに日頃からの避難所等を確認していただき、防災意識の向上につなげてください。

■ハザードマップの作成条件

二斗蒔池が満水の状態で決壊し、貯水が全て下流に流れ出す状況を想定した浸水シミュレーションの結果を記載しました。

実際のため池の水位の状況、気象状況、決壊の状況によってはこのマップの浸水状況と異なる場合もあります。



■そうなってからでは遅い！早めの避難

備えて起きたいこと

- ・避難場所や避難経路の確認
- ・家族で避難方法の相談
- ・非常用持ち出し袋の準備
- ・テレビやラジオから正確な情報収集

避難指示勧告には、速やかに従いましょう。

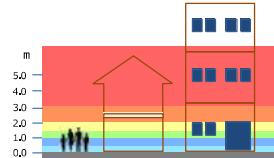
ため池の決壊とは

- ・ため池は地震や大雨により堤防が決壊する恐れがあります。
- ・ため池決壊により大量の水や土砂が濁流となり、短時間で押し寄せます。
- ・東日本大震災（平成23年3月11日）での深度6弱の搖れで、須賀川市のため池では死者・行方不明者8名、全壊家屋19棟、床上床下浸水家屋55棟の被害も出ました。

■ハザードマップに載せる情報

① 場所ごとの浸水する深さ

場所ごとの浸水する深さを色分けして地図上に表示しました。



② 到達時間

ため池の水が到達するまでの時間を表示しました。



③ 避難場所

避難する場所を地図上に表示しました。なお、一刻も早い避難が必要な事態になったときは、指定された避難場所によらず、近くの高台へ避難してください。

④ いざというときの心構え

いざというときの避難に備えて、日常から心がけておく事柄を記載しました。

地図を見るうえでのポイント

- ・地図の凡例を参考に、どこにどのような浸水が想定されているか確認しましょう（浸水想定区域では、水だけでなく、土砂や流木、地図上にある様々なものが押し流されてくる可能性があります。）
- ・災害の状況によっては、避難所へ向かうことが危険な場合があるので注意しましょう。
- ・地図を片手に自分の家から避難所まで歩き、実際の距離感や、災害時に危険そうな箇所（地震時に崩れそうなブロック塀、大雨時に溺れそうな深みのあるところ）や、逃げ込める高台などをあらかじめ確認しておきましょう。

本マップについては、以下のデータ群を加工した上で作成しています。

- ・地理院地図および基盤地図情報（国土地理院）
- ・国土数値情報 土地利用細分メッシュ第2.6版（国土交通省）（<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-L03-b.html>）
- ・国土数値情報 土砂災害危険箇所第2.0版（国土交通省）（<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-A26.html>）
- ・国土数値情報 土砂災害警戒区域第1.3版（国土交通省）（https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-A33-v1_3.html）